

## 地域に生き、行動する市民を育成する政治学習

- 1 校種・教科・科目（分野） 高等学校・公民科・公共
- 2 単元名 地方自治体は何を優先して支出すべきか？
- 3 学習指導要領上の位置付け B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち （2）主として政治に関わる事項
- 4 カリキュラムマップとの関連性 市民の権利と責任 平和で安全な社会

### 5 単元目標

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような憲法上の権利が問題となっているのかを理解することができる。</li> <li>・地方自治体の財政について読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法に規定された権利を参考にして自分の意見を論理的に論述することができる。</li> <li>・片方の意見だけでなく、自分の意見とは反対の考え方に対する反論も予想し、論述することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利と権利の対立や地方自治体の財政について、新たな疑問を見出している。</li> </ul>

### 6 単元の特徴（教材観）

生徒はこれまで憲法上の国民の権利を学習している。国民には様々な権利が保障されているが、数多くの権利が保障されていることから、その権利は他者の権利を侵害することもある。自身の権利と他者の権利が重なり合っている場面を「権利の衝突」と示し、このように権利同士が衝突した場合にどのように調整することが望ましいかについて、第一次では国民の権利に関する既習事項を踏まえて、国民の権利を使いこなせるようになることを目指す。ここでいう「使いこなせるようになる」こととは、自らの権利が実社会・実生活の場面でどのように関連しているのかを言語化することである。

第二次では、お互いの権利を尊重するため国（地方自治体）の支出をどこまで許容することができるのかについての学習活動を行い、国民の憲法上の権利を保障するために地方自治体が地方の政治を行っていることを理解し、地方自治体の政治とはどのようにあるべきかを考察する。その際、自身が居住する地方自治体の予算を分析し、地方自治体は何に対して支出しているのか、自らが必要だと考える政策をどのように予算立てするのかを考察する。上記の学習活動をとおして「公正な社会的判断力」という資質・能力を育成することを目指す。

### 7 単元計画

次	時	項目	学習活動
第1次 Aさんは立ち退くべきか？ ～豊かで自由な生活をおくるためには何が必要か～	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既習事項の復習</li> <li>②自分が住む町が便利になる！</li> <li>③街の再開発はいいことばかりか？</li> <li>④双方はどのような主張をしているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既習事項の復習（自由権と社会権の内容について確認する）</li> <li>②街の再開発・道路の開通で街が便利になることを地域の再開発状況から考察する。</li> <li>③街が便利になる一方で、再開発対象地域に居住している住民はどうなるのか考える。</li> <li>④事故多発地域と道路拡張の事例を読み、この事例に出てくる双方がそれぞれどのような憲法上の権利をもっているか考察し、憲法上の権利と結び付けて、相手が納</li> </ul>

			得てきたようなそれぞれの主張を考える。 (グループで作成)
	2	①双方の主張を確認する ②主張を論述する ③相互評価 (ループリック)	①双方の主張をそれぞれグループごとに作成し、双方のいずれも憲法上の権利を主張しており、ともに保障された権利であることを確認する。 ②Aさんは立ち退くべきだと考えるかについて、「経済の自由」と「生存権」という言葉を用いて論述する。 ③論述した内容を相互評価する。
第2次 Aさんと市民の生活を守るために地方自治体は何をすべきか?	4	①地方自治はどのような仕組みで政治をおこなっているのか? ②自分の住む町は何にお金を使っているのか?	①地方の政治が国から独立して行われていることやそこに住む市民の意思に基づいて行われていることを理解する。 ②自らが居住する地方自治体の収入と支出を広報などで調べ、地方自治体が何に、どれだけお金を支出しているのかを考察する。
	5	①自分の居住する地方自治体の財政状況を踏まえ、住民の幸せな暮らしを守るために、地方自治体はどうすべきか?	①Aさんと市民の生活を守るために地方自治体は何を優先して予算を計上し、住民の幸福な生活を保障していくのかについて、予算立てを行う。 ②立てた予算を他者に紹介し、フィードバックをもらったうえで最終的な予算を作成し、予算作成の根拠を論理的に説明する。

## 8 カリキュラム・マネジメント

本単元では憲法分野で学習した知識・技能と地方自治の基本的な考え方を学習する授業を構成した。憲法学習ではややもすれば憲法の規定事項を網羅的に扱ったり、判例を読み解く判例学習となってしまう。また、地方自治の学習では住民の直接請求権とその計算を中心とする学習が展開されてしまう。そのような授業には「何のために憲法の学習をするのか」、「地方自治の政治とはどのようにあるべきか、そこに生きる市民としてどのように判断するのか」という視点が欠けているのではないだろうか。生徒が社会に生きる市民として行動していくために、それぞれの単元でどのような内容を学び、その単元で身に付けた力を発揮することができる機会を作る授業を構成していくことが必要だろう。

## 9 本時の授業展開

### (1) 本時 (第1次) の目標・問・想定される生徒のあらわれ

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路建設をめぐる立ち退き問題について双方の主張と原因について分析することができる。</li> <li>・どのような権利・自由が衝突(対立)しているのかを分析し、まとめることができる。</li> <li>・Aさんは立ち退くべきか、またそれに伴いどのような補償をすべきかについて自分の意見を論理的に論述することができる。</li> </ul>
問い	〇〇市で青果店を営むAさんは立ち退くべきか?
想定される生徒のあらわれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aさんには経済の自由があるので、立ち退かせるべきではないのではないか。</li> <li>・道路建設はAさんの権利を著しく侵害するのでとりやめるべき。</li> <li>・Aさんは道路建設の妨げとなっているので、立ち退くべきである。</li> <li>・Aさんは道路建設の妨げとなっており、地域住民の生存権を脅かすので、立ち退くべきである。</li> <li>・立ち退かせるだけではAさんの経済の自由が守られないので、売上の補償や店舗の用意をすべきではないか。</li> </ul>

### (2) 授業で使ったワークシート・ループリックについて

次頁に授業で使ったワークシート・ループリック等を示す。  
紙幅の都合上、実際に使ったレイアウト・文字サイズは一部変更した。

12	公共 授業プリント 【権利の衝突】	月	日
----	----------------------	---	---

教科書 66-71 ページ

**【今までの復習】**

- ・人は誰でも、どんなことを考えたり、発言したりしても良い = (①) の自由
- ・人は誰でも、好きな仕事を選択でき、好きな場所に住むことができ、自分の財産を自由に使える  
= (②) の自由
- ・人は誰でも、体を拘束されないし、自分の意思に反して苦役を強制されない = (③) の自由



**国家からの自由 = ( )**

**国家による自由 = ( )**



貧困、環境、教育など様々な社会問題を解決して、人間らしい暮らしを保障するよう国家に求める権利 = (④)		
⑤	⑥	⑦

**1 街の再開発・道路の開通で街が便利になる！**

静岡新聞「JR 富士駅前の都市構想原案  
山梨-静岡前線開通」  
(2021年8月30日朝刊)

朝日新聞「中部横断自動車道  
北口「まちのシンボル」目指す」  
(2021年10月28日朝刊)

著作権の都合により、写真は割愛

著作権の都合により、写真は割愛

**2 街の再開発・道路の開通は良いことばかりか？**

事例 「道路建設をめぐる」

Aさんは富士市で「富士やさい」という名の青果店を営んでいます。「富士やさい」は商品の品質や店主の性格が良く、地域の住民から愛され繁盛していました。

ただ、「富士やさい」の店の前の道路は非常に道幅が狭い上に、地域住民の通勤路や中高生の通学路になっており、渋滞が発生したり、交通事故が多発したりしています。

このことから、一部の地域住民は「道幅を広げてほしい」と富士市にお願いしていました。

そこで富士市はこの道路の道幅を広げる工事を実施したいと考えました。この工事を実施するためには、この道路沿いに建っている家やお店に立ち退いてもらわなければなりません。Aさんの「富士やさい」もその中の1つです。

**青果店を営む Aさんは立ち退くべきだろうか？**

**最初の考え** 課題に対して最初の考えを書いてみよう

### 3 双方の主張を整理しよう

青果店を営む A さん	対立	道路を広げてほしいと考えている一部住民 富士市
	原因	
	主張	
	根拠	

### 4 自分の意見を論述しよう

あなたは、A さんは立ち退くべきだと考えますか。

「経済の自由」と「生存権」という言葉を必ず用いて、自分の意見を主張しなさい。

#### 【評価基準】

評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
A Clear	<input type="checkbox"/> A さんや地域住民・富士市の主張を憲法上の権利に結びつけることができている。 <input type="checkbox"/> 権利と権利の対立について、新たな疑問を生み出している。	<input type="checkbox"/> 憲法に規定された権利を参考にして自分の意見を論理的に論述することができる。 <input type="checkbox"/> 片方の意見だけでなく、自分の意見とは反対の考え方に対する反論も予想し、論述することができる。 <input type="checkbox"/> 今までの学習内容（多数決時の少数意見の尊重など）と関連付けることができている。
B 一部できているが、不足あり	<input type="checkbox"/> A さんや住民の意見をまとめ、自分の考えを論述することができる。	<input type="checkbox"/> 事例に対する自分の意見を表現することができる。 <input type="checkbox"/> 憲法に規定された権利を整理して書くことができる。
C Not clear	<input type="checkbox"/> 論述しない <input type="checkbox"/> 指定された言葉が入っていない	<input type="checkbox"/> 論述しない <input type="checkbox"/> 指定された言葉が入っていない

#### 【次回への展望】

国民の「権利」と「権利」が衝突した場合に、どのように「調整」するのが望ましいだろう？

#### 4 自分の意見を論述しよう

あなたは、Aさんは立ち退くべき（Aさんを立ち退かせるべき）だと考えますか。  
 「経済の自由」と「生存権」という言葉を必ず用いて、自分の意見を主張しなさい。

新たに生まれた 問・疑問	
-----------------	--

#### 【相互評価用ルーブリック】

評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
A Clear	<input type="checkbox"/> Aさんや地域住民・富士市の主張を憲法上の権利に結びつけることができる。 <input type="checkbox"/> 権利と権利の対立について、新たな疑問を生み出している。	<input type="checkbox"/> 憲法に規定された権利を参考にして自分の意見を論理的に論述することができる。 <input type="checkbox"/> 片方の意見だけでなく、自分の意見とは反対の考え方に対する反論も予想し、論述することができる。 <input type="checkbox"/> 今までの学習内容（多数決時の少数意見の尊重など）と関連付けることができる。
B 一部できているが、不足あり	<input type="checkbox"/> Aさんや住民の意見をまとめ、自分の考えを論述することができる。	<input type="checkbox"/> 事例に対する自分の意見を表現することができる。 <input type="checkbox"/> 憲法に規定された権利を整理して書くことができる。
C Not clear	<input type="checkbox"/> 論述しない <input type="checkbox"/> 指定された言葉が入っていない	<input type="checkbox"/> 論述しない <input type="checkbox"/> 指定された言葉が入っていない

クラス・番号

名前

## 10 生徒の学習成果とその評価

### (1) 第1次の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価は実施しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路建設をめぐる立ち退き問題について双方の主張と原因、憲法上の国民の権利や自由と関連付けて分析することができる。</li><li>・Aさんは立ち退くべきか、またそれに伴いどのような補償をすべきかについて自分の意見を論理的に論述することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路建設をめぐる立ち退き問題について、今までの学習を踏まえて主体的に解決しようとしている。</li></ul>

### (2) 実際の評価について（評価例はいずれも原文ママ）

#### ア A評価の例

Aさんは立ち退くべきだと思います。なぜなら経済の自由は公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有するが公共の福祉は社会全体の利益という意味もあり、Aさんが立ち退くことで多くの人の生存権を守ることにつながるため、これは社会全体の利益であるから立ち退かないというのはそれに反しているから立ち退くべきだと思います。しかし、それでは不公平なので立ち退かせる側もAさんが職業を失わせないために何らかの保障をすべきであると思う。

私はAさんを立ち退かせるべきではないと考えます。Aさんは青果店を営んでおり、その経営で手にした利益で生活をしています。なので、Aさんを立ち退かせると店の経営ができなくなり、Aさんの経済の自由をうばってしまうこととなります。また、生存権の侵害につながると言われていたますが、働けなくなり、文化的な最低限度の生活ができなくなる可能性があるのはAさんも同じです。なので通行時に最徐行で進めば事故の可能性もへらせると思います。

A評価の例はいずれもAさん側の意見のみ、地域住民側の意見のみを主張しているのではなく、立ち退かせる場合と立ち退かせない場合の両方を考慮して、自らの意見を主張している点で思考・判断・表現についてA評価をつけることができる。

#### イ B評価の例

Aさんを立ち退かせるべきだと思います。なぜなら、狭い道で事故が生じれば地域住民の多くの命がなくならざるをえなくなり、命にかかわってしまい生存権を侵害してしまうからです。なのでAさんには別の好きな場所に住んだり、別の場所で青果店を経営して養っていけば経済の自由は侵害されないと思います。店主の性格も商品もよいということなので、繁盛すると思います。

上記の論述内容は生存権や経済の自由という概念は理解しているが、補償なく立ち退かせるという内容であり、A評価の内容には到達していない論述である。

#### ウ C評価の例

Aさんは立ち退くべき。Aさんは経済の自由があるから好きな仕事、好きな家に住めることができる。

経済の自由という概念は理解しているが、指定した言葉が使われていないことから理解不十分であるとしてC評価とした。

## 11 「18歳市民力」育成に向けての提案

社会科、とりわけ公民科は平和で民主的な社会をつくっていくためにたいへん重要な教科である。自由で平等な社会をつくっていく市民を育てていくことは社会科（公民科）の使命である。一方で社会科（公民科）は、いわゆる「暗記科目」であるという批判も根強くある。その理由として草原は上記のような授業で扱われている「社会が、自己と乖離した客観的知識としての社会であり、社会で議論されている論点・争点からも程遠い非公共空間に関する社会であり、そして大半の庶民にとっては縁もゆかりも利害もないエスタブリッシュメントのための社会だからではないか」（草原他, 2021）と問題提起をしている。私たち教員は生徒の生活にとって真に重要で、追究したくなるような授業を開発・実践していくべきではないだろうか。単に学習指導要領に記載されているから、教科書に書いてあるから、自分がそう教わってきたから教えるのではなく、私たち教員自身が市民を育成するためにどのような授業を行うべきか単元をデザインし、調整していく（スティーブン, 2012）ことが必要だろう。

### 【参考文献】

草原和博・川口広美編著（2021）「学びの意味を追究した中学校公民の単元デザイン」明治図書  
スティーブン・J・ソートン著・渡部・山田・堀田訳（2012）「教師のゲートキーピング - 主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて-」春風社

松山 陸（静岡県立吉原工業高等学校）